

An isometric illustration of a cityscape with various colored buildings (orange, blue, pink, purple, brown) and green trees, viewed from an elevated perspective. The buildings are arranged in a grid-like pattern, with some taller than others, creating a sense of depth and urban density.

2023年7月期 決算説明資料

 株式会社ニッソウ

東証グロース市場/名証ネクスト市場
証券コード1444

東証グロース上場から丸1年

売上高、営業利益ともに過去最高を更新

売上高

4,166,512 千円

営業利益

148,240 千円

当期純利益

69,464 千円

2023年7月期より連結決算へ移行

2023年3月に子会社日本リゾートバンク株式会社を設立。
2023年5月に株式会社ヤナ・コーポレーションの株式を100%取得し
完全子会社化しグループ企業へ。
2023年7月期より連結決算へ移行。

新たな資金調達方法の実現

2022年9月 株式会社三井住友銀行とコミットメントライン契約の締結
2023年3月 株式会社りそな銀行とコミットメントライン契約の締結
2023年7月 株式会社商工組合中央金庫とコミットメントライン契約の締結

ニッソウグループ

2024年7期からは日本リゾートバンク株式会社の事業も開始、ニッソウグループとしてさらなる事業拡大を目指して行く

 株式会社ニッソウ

不動産業界のリフォーム

 株式会社ヤナ・コーポレーション

総合リフォーム工事



日本リゾートバンク株式会社

リゾート物件を取扱う不動産事業

既存事業領域

新規事業領域



果敢に攻めた35期

株主優待の実施

上場会社の
株式取得

M&A
業務提携

子会社設立

期待、そして夢へ



1 会社概要

2 2023年7月期決算説明

3 今後の成長戦略について

4 2024年7月期業績予測

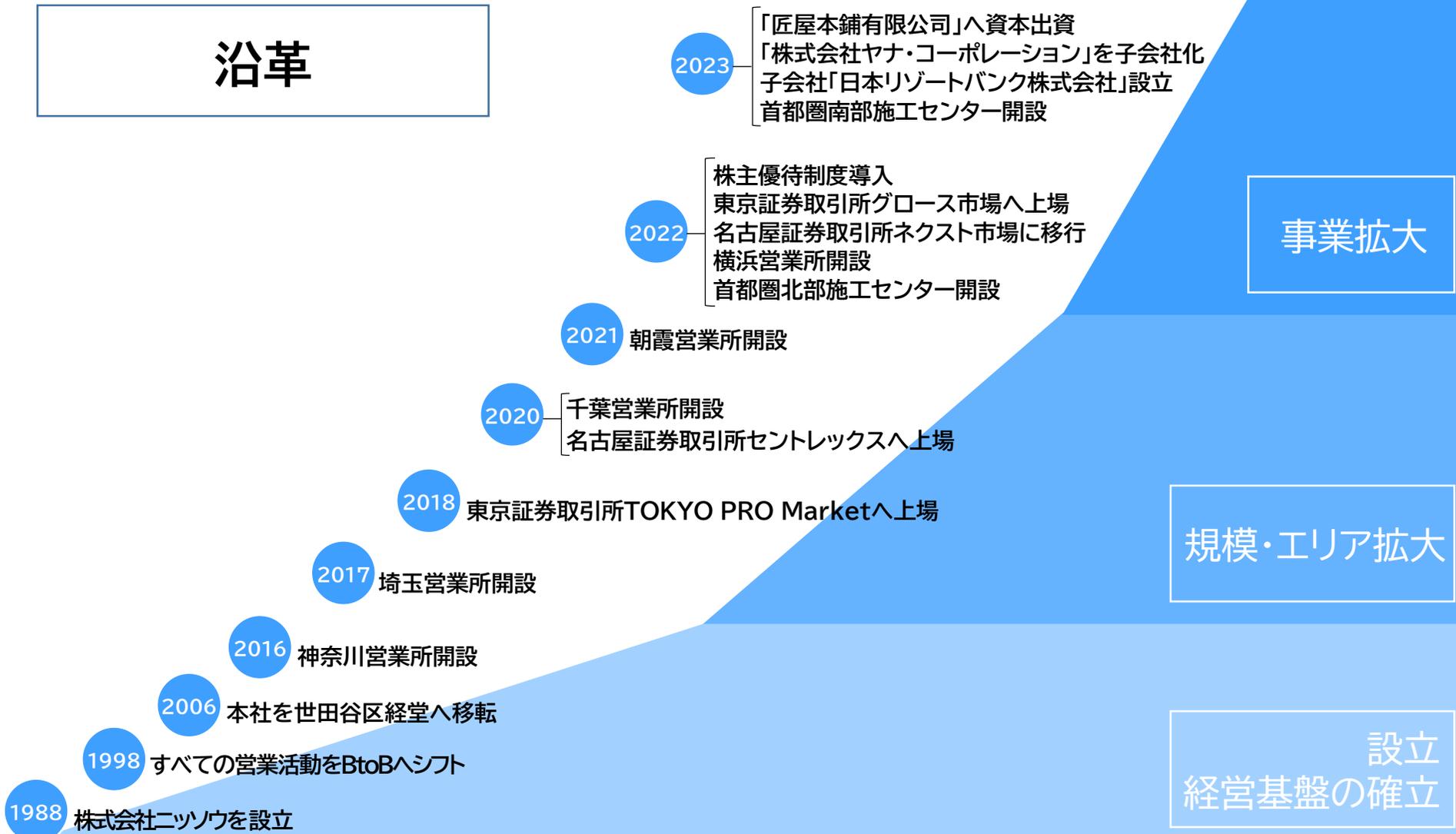
5 TOPICS

会社概要

会社名	株式会社ニッソウ
代表者	代表取締役社長 前田 浩
本社所在地	東京都世田谷区経堂1丁目8番地17号
設立	1988年9月
決算期	7月
資本金	349百万円(2023年7月末)
従業員数	87名(2023年7月末)(連結)
拠点	神奈川営業所 / 埼玉営業所 / 千葉営業所 / 朝霞営業所 / 横浜営業所 / 首都圏北部施工センター / 首都圏南部施工センター
事業内容	不動産物件のリフォーム (BtoB)

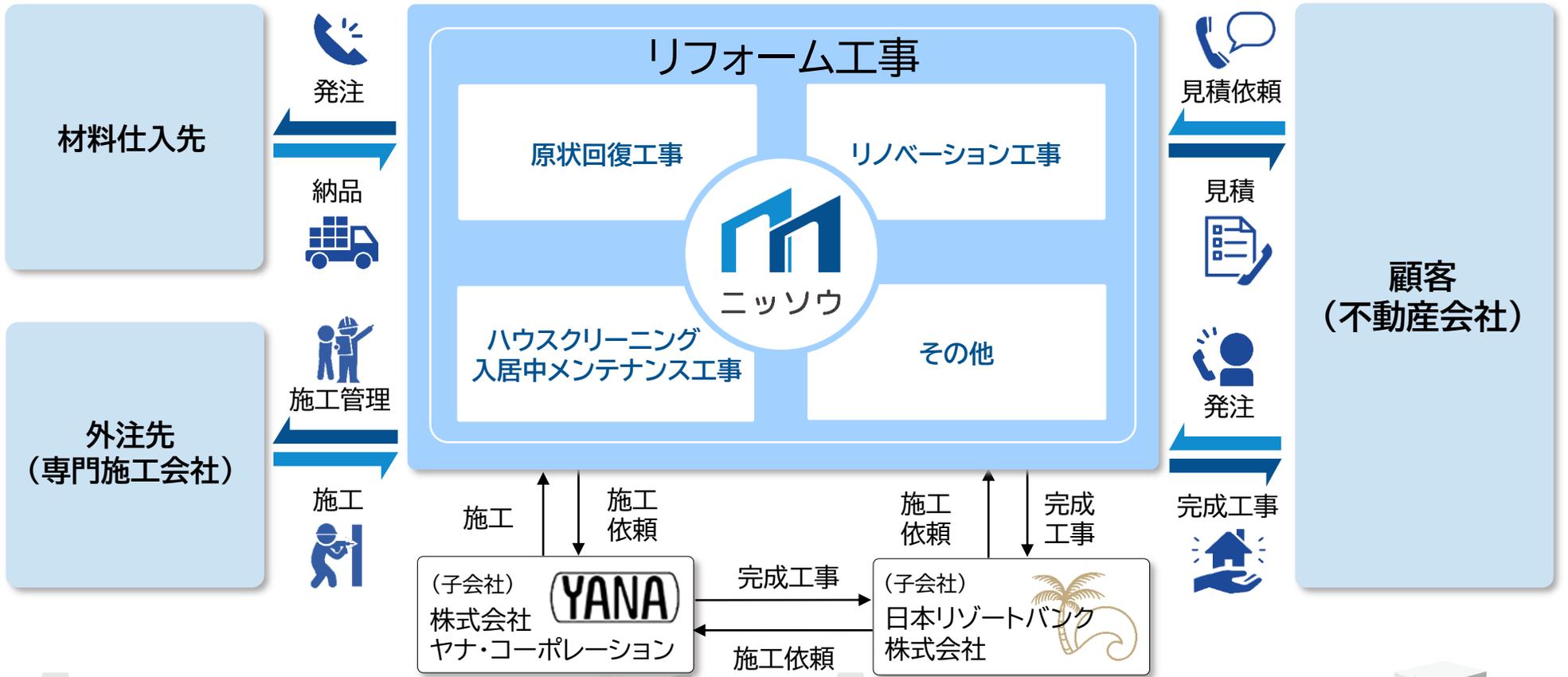


沿革



ビジネスモデル

事業概要図



顧客の特徴

当社の主要顧客

- ✓ 不動産業者・管理会社が
当社の主な顧客

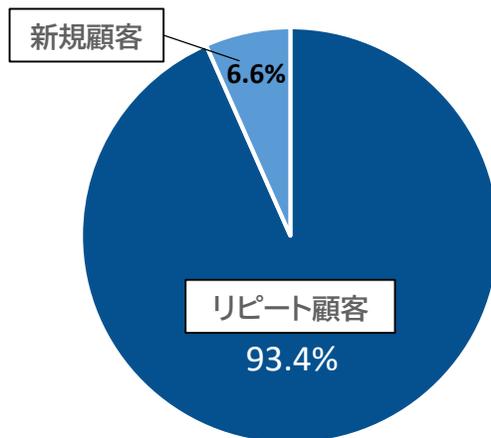


不動産会社・管理会社・再販業者
などの法人

リピート顧客の多さ

- ✓ 工事受注の多くを
リピート顧客から獲得

新規顧客対リピート顧客
工事件数割合



(2023年7月期)
※単体

様々な顧客から受注

- ✓ 多くの顧客から仕事を受注
1社依存度が非常に少ない

顧客別工事件数割合

A社	5.1%
B社	2.4%
C社	1.6%
D社	1.5%
E社	1.4%
その他	88.0%

(2023年7月期)
※単体

※新規顧客 : 2023年7月期期首以降に契約・販売管理システムへ登録がなされた顧客
リピート顧客: 2022年7月期末までに契約・販売管理システムへ登録がされている顧客
※工事件数については、2023年7月期に完成した工事の件数になっております。

An isometric illustration of a city with various buildings in shades of blue, purple, orange, and pink, interspersed with green trees. The buildings are of different heights and styles, creating a vibrant urban scene.

1 会社概要

2 2023年7月期決算説明

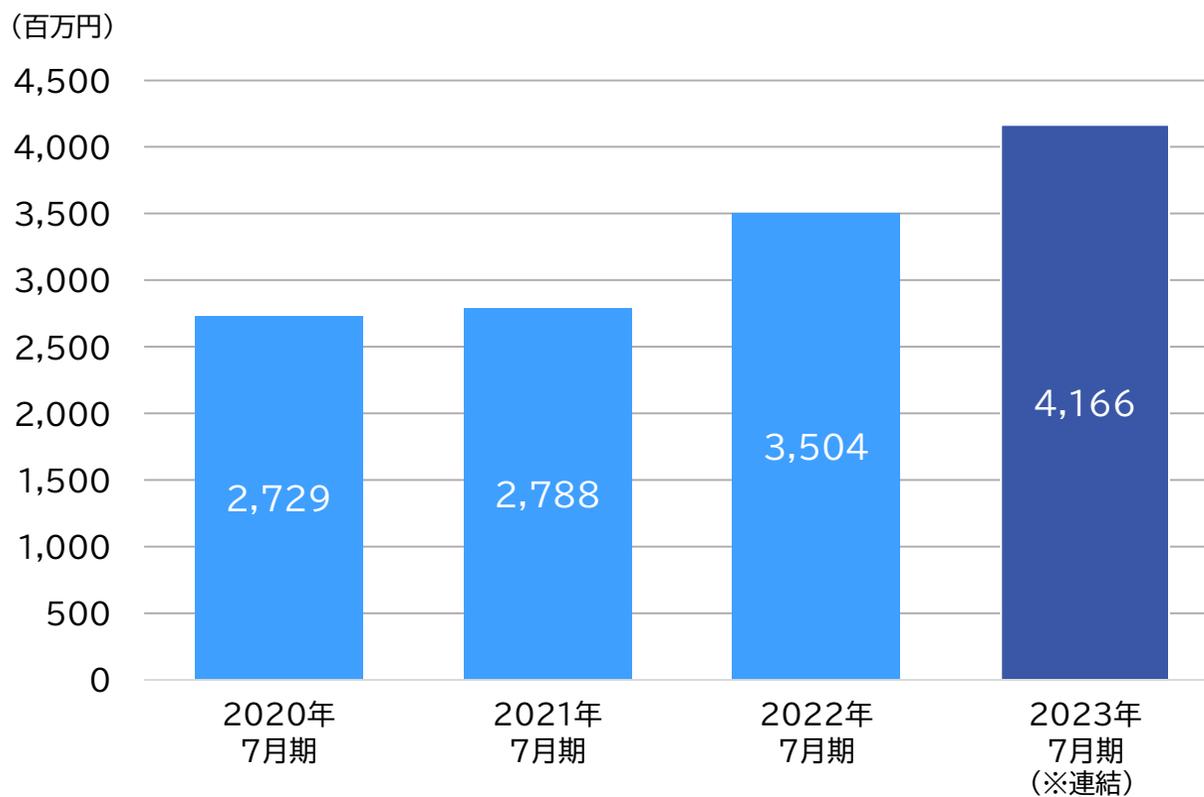
3 今後の成長戦略について

4 2024年7月期業績予測

5 TOPICS

2023年7月期 売上高

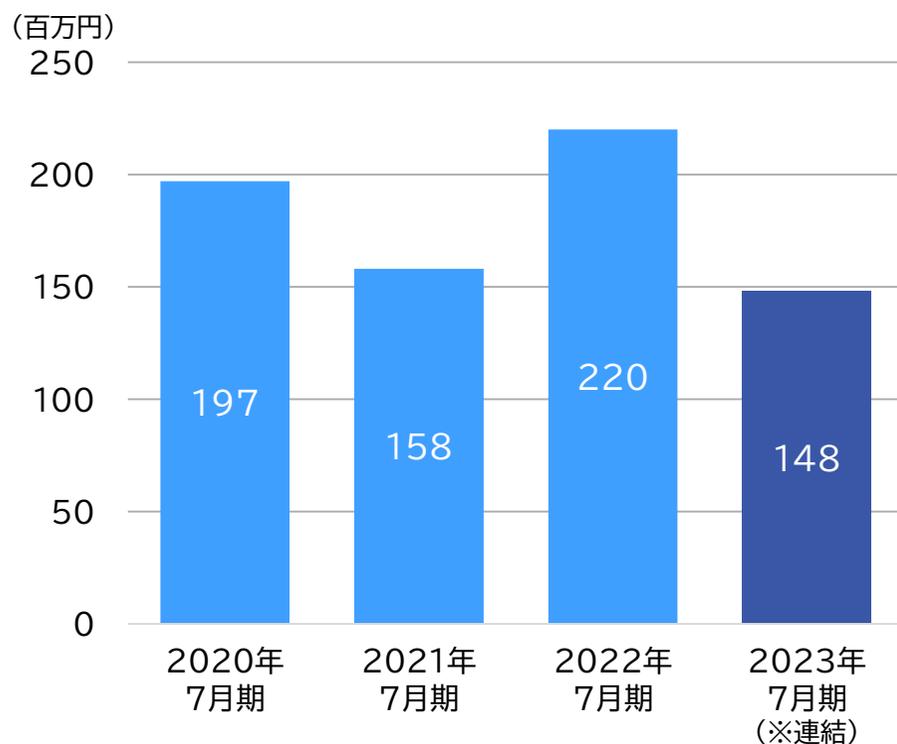
売上高推移



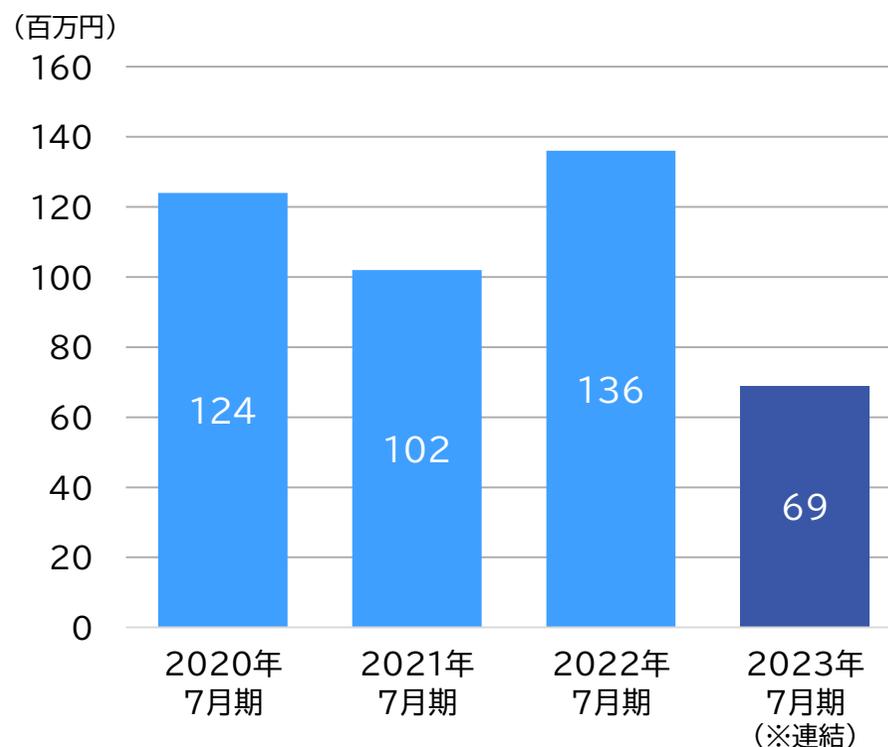
※2023年7月期より連結決算に移行。2020年7月期～2022年7月期の業績は単体数値を表示しております。
※2022年7月期期首より、収益認識会計基準等を適用しており、2021年7月期については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。
また、2020年7月期末より工事進行基準を適用しております。

2023年7月期 営業利益/当期純利益

営業利益推移



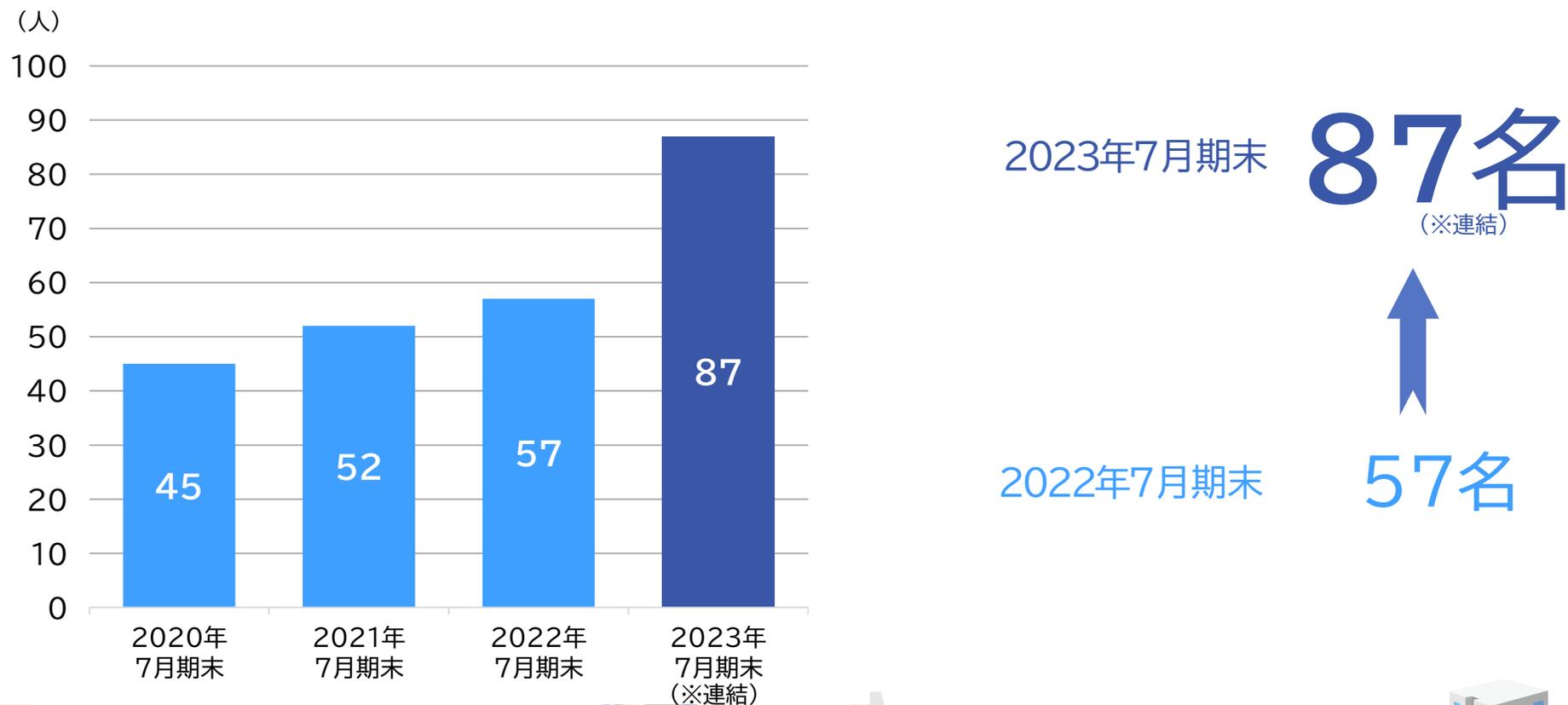
当期純利益推移



※2023年7月期より連結決算に移行。2020年7月期～2022年7月期の業績は単体数値を表示しております。

2023年7月期 従業員数

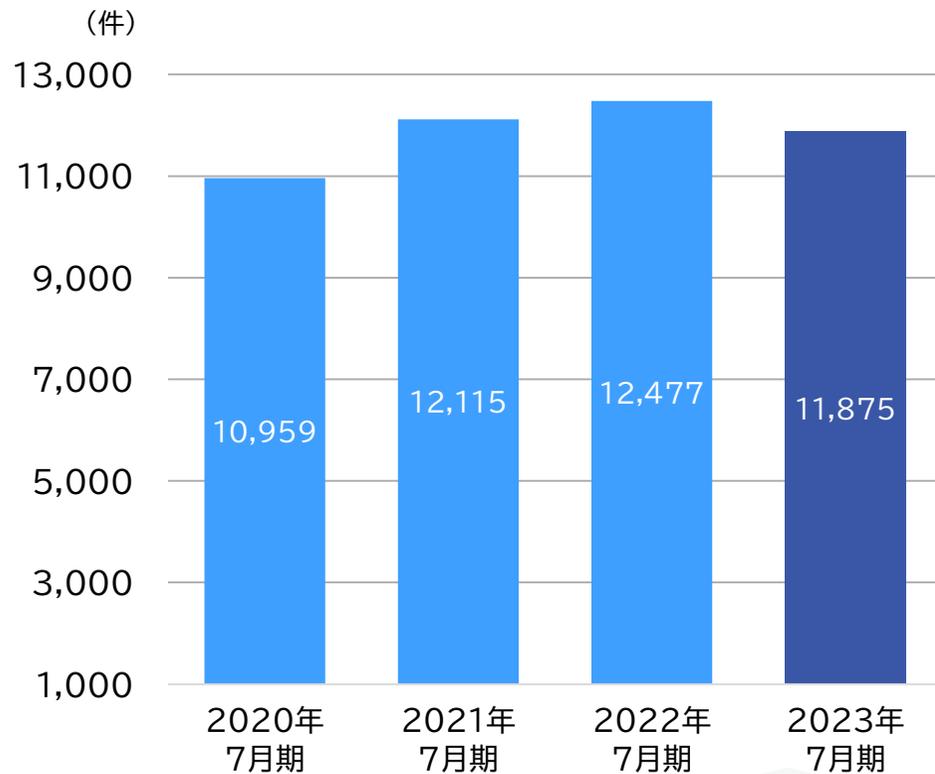
従業員数推移



※従業員数は企業集団における期末時点の従業員数を表示しております。

2023年7月期 完成工事件数

完成工事件数推移



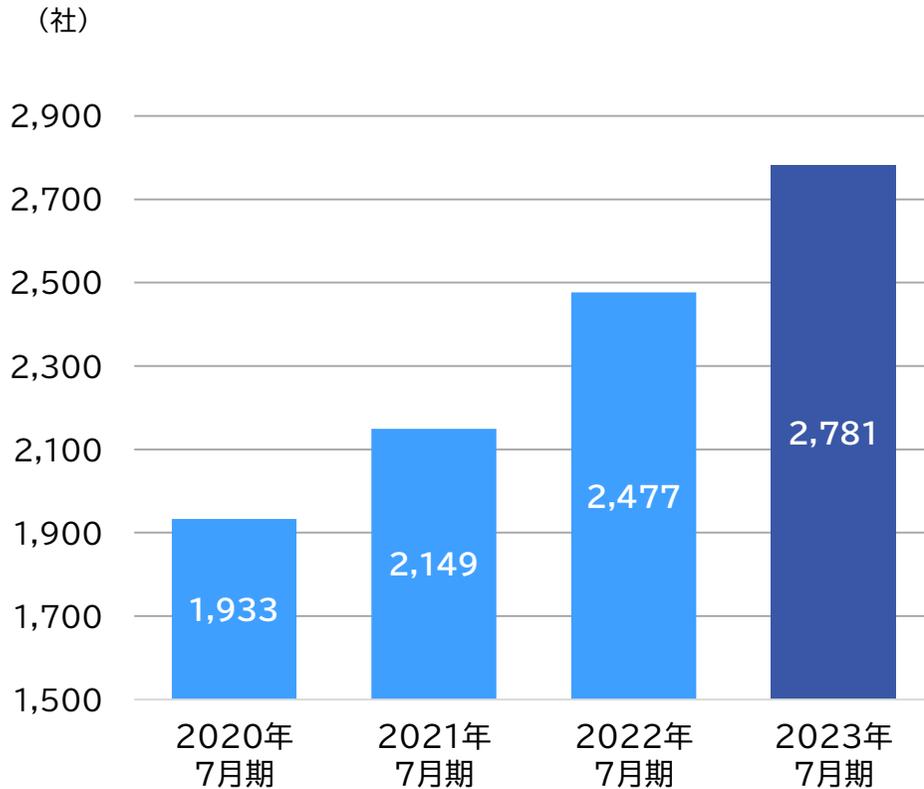
前期より、

-4.8%の減少

※工事件数については、各事業年度内に完成した工事の件数になっております。
また、工事件数は単体の数値を表示しております。

2023年7月期 顧客登録数

顧客登録数累計推移



顧客獲得数は
2023年7月期のみで、

304社獲得

※弊社との契約後、弊社販売管理システムへ顧客登録をした各期末時点での累計登録会社数になります。

※顧客登録数は単体の数値を表示しております。

2023年7月期 損益計算書

損益計算書 (単位:千円)	2022年7月期	2023年7月期 (※連結)	増減額	増減率	増減の主な内容
売上高	3,504,776	4,166,512	+661,736	+18.9%	工事単価の増加による
売上原価	2,645,620	3,177,292	+531,671	+20.1%	完成工事高が増加したことに伴う外注費、材料費の増加による
売上総利益	859,156	989,220	+130,064	+15.1%	
販管費	638,970	840,979	+202,009	+31.6%	人員増加による人件費の増加、広告宣伝・求人強化に伴う費用の増加、株主優待費用、M&Aに関する取得関連費用の計上等による
営業利益	220,185	148,240	△71,945	△32.7%	
営業外損益	△12,654	△5,307	+7,347	△58.1%	今期は持分法投資損失や支払利息の発生等による営業外費用が発生したが、前期の上場関連費用より小さかったことによる
経常利益	207,531	142,933	△64,597	△31.1%	
特別損益	△851	727	1,579	—	前期は固定資産除却損が発生、今期は固定資産除却益が発生したことによる
当期純利益	136,970	69,464	△67,506	△49.3%	

※2023年7月期より連結決算に移行。2022年7月期の業績は単体数値を表示しております。

2023年7月期 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書

貸借対照表 (単位:千円)	2022年7月期末	2023年7月期末 (※連結)	増減額	増減額の内容
流動資産	1,566,546	1,845,468	+278,921	現金預金、完成工事未収入金、契約資産等が増加したことによる
固定資産	123,933	645,976	+522,043	関係会社株式の取得等による投資その他の資産が増加したこと等による
資産合計	1,690,479	2,491,444	+800,965	
負債	343,665	1,012,418	+668,752	短期借入金、長期借入金、工事未払金、未成工事受入金の増加による
純資産	1,346,814	1,479,026	+132,212	当期純利益の計上に伴い利益剰余金、第三者割当増資による募集株式の発行に伴い、資本金、資本剰余金が増加したことによる
負債純資産合計	1,690,479	2,491,444	+800,965	
キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)	2022年7月期	2023年7月期 (※連結)	増減額	増減額の内容
営業活動によるCF	132,629	67,918	△64,711	売上が増加したものの、販管費が増加したこと等による
投資活動によるCF	△34,511	△469,072	△434,560	関係会社株式の取得、投資有価証券の取得による支出による
財務活動によるCF	197,998	549,030	+351,032	短期・長期借入金の増加による
現金及び現金同等物の 期末残高	1,006,763	1,154,640	+147,876	

※2023年7月期より連結決算に移行。2022年7月期の業績は単体数値を表示しております。

An isometric illustration of a city with various buildings in shades of blue, purple, orange, and pink, interspersed with green trees. The buildings are of different heights and styles, some with windows. The scene is viewed from an elevated perspective.

1 会社概要

2 2023年7月期決算説明

3 今後の成長戦略について

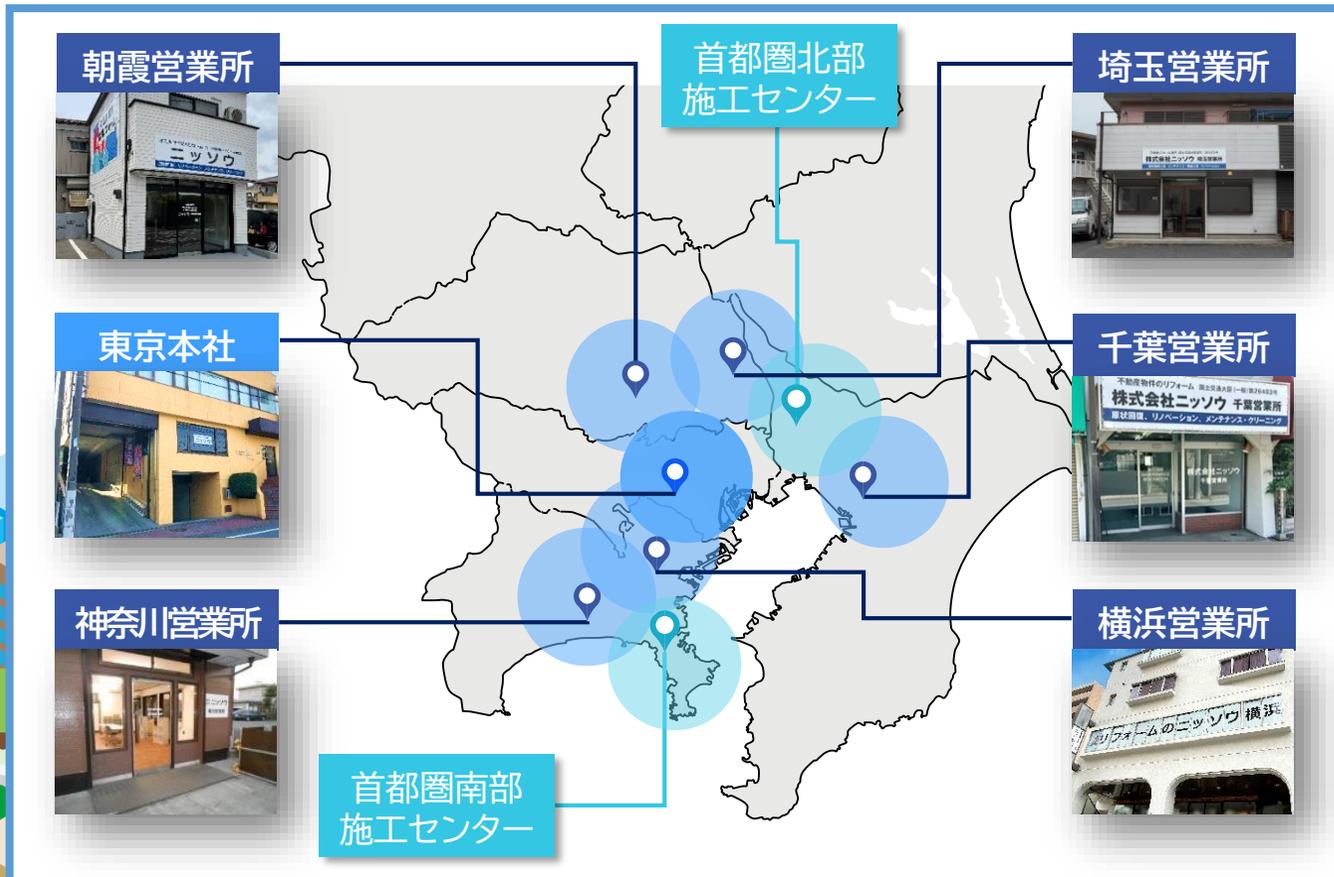
4 2024年7月期業績予測

5 TOPICS

首都圏エリアの強化 / 海外進出

首都圏エリアの強化により収益基盤を拡充

エリア拡大した地域への細やかでスピーディーなアプローチを実現



積極的な人材投資

「教育制度の強化」



- 教育体制の強化
- 指導カリキュラムの見直し
- 管理職育成 等

「人員増強」



- 積極的な採用活動
- ブランドイメージの向上
- 広報活動の拡充 等

「働きやすい環境づくり」



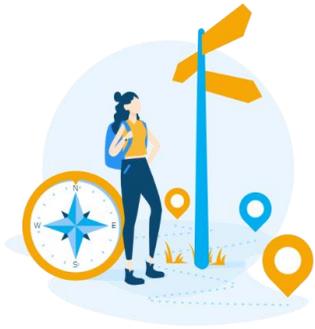
- 風通しの良い社風づくり
- ダイバーシティの推進
- 社内交流の活性化 等

「職人養成スクールを不定期に開催」



グロース戦略

新規顧客開拓



東京都を中心とした
関東圏の新規顧客を開拓。
原状回復工事を中心とした
リフォーム工事の地域シェア
拡大。

外注先・仕入先の拡充



新たな外注先の開拓と
確保、および定着。
豊富な仕入先との提携。

既存事業と周辺工事の伸展



既存3種の工事受注件数
増強。
外壁・外構等の受注確立。
既存顧客の深耕。

事業領域の拡大



子会社設立や業務提携、
M&Aなどによる
事業領域の拡大。

An isometric illustration of a cityscape with various buildings in shades of orange, blue, purple, and pink, interspersed with green trees. The buildings are of different heights and styles, creating a vibrant urban scene.

1 会社概要

2 2023年7月期決算説明

3 今後の成長戦略について

4 2024年7月期業績予測

5 TOPICS

2024年7月期 連結業績予想

2024年7月期よりニッソウグループとして本格始動

売上高は大幅増の5,382百万円、営業利益は245百万円、当期純利益は147百万円を見込む

(単位:千円)	2023年7月期	2024年7月期 (予測)	増減額	増減率
売上高	4,166,512	5,382,331	+1,215,818	+29.2%
売上原価	3,177,292	4,031,375	+854,082	+26.9%
売上総利益	989,220	1,350,956	+361,736	+36.6%
販管費	840,979	1,104,973	+263,993	+31.4%
営業利益	148,240	245,983	+97,743	+65.9%
経常利益	142,933	249,566	+106,633	+74.6%
当期純利益	69,464	147,381	+77,916	+112.2%

An isometric illustration of a cityscape with various buildings in shades of orange, blue, purple, and pink, interspersed with green trees. The buildings are of different heights and styles, creating a vibrant urban scene.

1 会社概要

2 2023年7月期決算説明

3 今後の成長戦略について

4 2024年7月期業績予測

5 TOPICS

株主優待制度について

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、
当社株式への投資魅力を一層高め、
中長期的に保有いただける株主様の増加を目的とし今後も継続



※ニッソー・プレミアム優待倶楽部

ご清聴ありがとうございました。



不動産リフォームの
ニッソウ

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中に業績予想ならびに将来予想は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きくことなる場合があります。